

# 相馬港に震災後初となる外航船が入港

## 2-4バースに震災後初の外航船入港

東日本大震災により、港湾施設に甚大な被害を受けた相馬港ですが、応急復旧工事により8月5日現在、公共バース12バース中、3バースが供用可能となっております。

8月8日には震災後、初となる外航船が2号ふ頭4号岸壁(-12m)に入港いたしました。

今回の外航船入港は、相馬港周辺の産業や物流機能の回復への大きな一歩となりました。

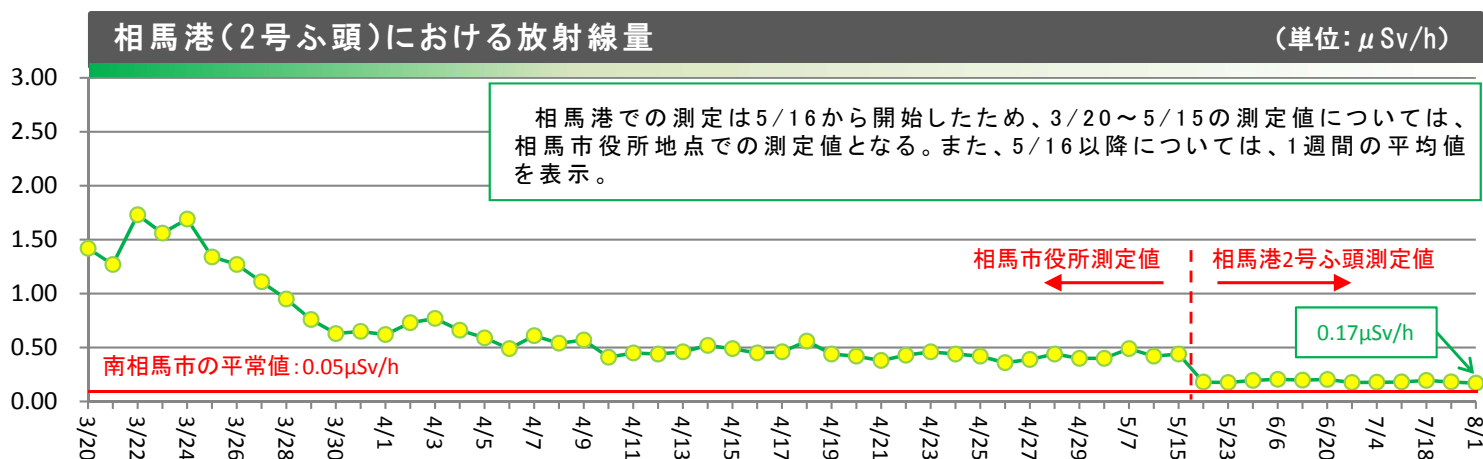


- ・船名: LE SHAN
- ・国籍: 中国
- ・総トン数: 15,542t
- ・貨物: 工業原料

▲2-4バースに接岸した外航船

## 相馬港の放射線量は低レベルで推移

相馬港では、大気中(1日2回測定)と海水中(週2回測定)の放射線量を、福島県及び国土交通省のホームページにて公表しています。現在の相馬港の放射線量は低レベルで推移しています。



年換算放射線量:  $1,489\mu\text{Sv/年}$  (最新値  $0.17\mu\text{Sv/h} \times 24\text{時間} \times 365\text{日}$ )

1人当たりの自然放射線量の世界平均:  $2,400\mu\text{Sv/年}$  ※文部科学省HP

人体へ影響を与える放射線量:  $100,000\mu\text{Sv}$  ※放射線医学総合研究所HP

